

沖縄県糸満市

生涯雇用で社員の成長と会社の発展が目標 地域福祉へ貢献するレーザー金属加工会社

1985年シャッターの施工会社として創業。1990年鋼製建具の板金加工へ事業拡張し工場建設。1992年法人化。1996年県内1号機となる大型パンチング機の導入など設備導入で生産を合理化。2012年糸満市西崎に現工場を移転し同時に一貫生産体制を確立。「工場はお客様に見せるもの、工場は最大の営業マン」の考えから、顧客の信頼を築くため様々な設備を効率的に稼働させ最高の製品を提供できる従業員教育に注力。

●所在地	沖縄県糸満市西崎町5-14-9	●設立	1992年
●電話/FAX	098-994-7465/098-994-7467	●資本金	300万円
●URL	http://www.kaiho-bender.co.jp/	●従業員数	67人
●代表者	代表取締役社長 登川 将光		



生涯雇用と社内環境改善による人材確保

同社では生涯雇用を掲げており、70代の社員も現役として働いている。若手社員がその年齢まで働けるようにロイヤリティーの向上や労働時間の改善などの職場改善に取組み、モチベーションが向上、社員定着率が改善している。若い世代の積極採用のため、毎年数名の地元高校生をインターンとして受入れ、雇用の確保に取組んでいる。また自社の素晴らしさや魅力を社員自ら認識し、親族、知人、友人などに紹介し、身近な人を積極的に採用することでお互いに助け合える雰囲気作りにも努めている。



63歳から73歳まで現役バリバリ社員衆

全社横断的な作業管理による働き方改革を実施

受注量が増加する一方で、即戦力となる人員の採用は難しい。現状人員で作業効率化に取組むため、昼食後に5分間ミーティングを行い早めに作業進捗を共有。部署横断的に作業の穴埋めを行うことで残業を削減し、一人あたりの作業を平準化することで会社全体で効率化させている。そのために生産管理システムを導入し製造プロセスの見える化に取組んでいる。平成30年5月からは社長号令のもと、働き方改革を実施。ノー残業日、残業時間の上限などを設定してワークライフバランスの向上に努めている。



働き方改革をテーマに全社員参加の勉強会

自律的能動的な社員育成と各種研修による技術力の向上

生産量が増加するなか、ボトルネックの解消や設備の負荷状況から積極的に設備投資を実施。業務の効率化、品質向上、生産の合理化に繋げている。また、従業員の長時間労働の解消にも寄与している。設備導入に合わせて生産ラインも見直したことで作業時間が短縮し、生産性の向上、受注量の拡大にも寄与している。進捗管理システムを導入したことで、工場内全体で作業が見える化できた結果、瞬時に作業内容の把握ができるようになった。



積極的な設備投資（2019年8月導入）